

# 人権問題の根をみつけ、対策を考えよう

所用時間

90分

対象

一般

ねらい

- 身近な人権問題を見つけ、分類していくことを通して、人権に関する課題の多さを実感するとともに、人権問題共通の根は何かについて考えることができる。
- 根を退治するための必要な方法がわかり、人権問題を解決しようとする意欲を持つことができる。

準備

のり付き付箋紙（7cm×7cmくらいのもの人数×10枚程度）  
模造紙（グループ各1枚） フェルトペン（グループ各1本）  
四つ切り画用紙（グループ各1枚） ホワイトボード（黒板）  
磁石（グループ各2個） ストップウォッチ（計時用1） 筆記用具（個人）

## 進め方

導入

5分

- 1 アイスブレイクを行い、グループを作ります。
  - ファシリテーターも参加するとよいでしょう。
  - 1つのグループが4～5人になるようにします。

展開

75分

- 2 各自が日頃人権問題だと感じている事を、身近な問題を中心に付箋紙1枚につき一つ書いてもらいます。（5分）  
発問：「みなさんが日頃これはおかしいなと思っていること、人権問題じゃないかと思っていることをどんな事でもいいので、思いつくまま付箋に書き出してみてください。」
- 3 グループごとに、模造紙に樹木の形を書き人権問題を整理していきます。ワークシートを拡大しても使用できます。（20分）  
発問：「みなさんの書いたものを出し合って、同じような内容の問題だと思われるものを1つの枝にまとめ、問題となるタイトルを付けていってください。そして模造紙に大きな木を一本作ってください。根も描いておいてください。」
  - ホワイトボードや黒板に絵を描きながら具体的に説明します。
- 4 グループでそれらの人権問題の根は何か考え、樹木の根に書き込みます。（5分）  
発問：「枝が全部できたら、それらの問題の根になっているものはいったい何かをみなさんで考えてみてください。そして模造紙の根のところに書きこんでください。」

展開

5 ギャラリーウォークで共有化をはかります。(20分)  
○模造紙はテーブルの上を広げたまま。各グループの半数の人が他のグループの図を見に行き、残った半数の人は留守番として残り、他のグループの人が来たとき説明したり質問に答えたりします。一とおり終わったら役割を交代してもう一度行います。

6 グループごとに「根を退治するための3箇条」を考え、画用紙に書きます。(15分)

発問：「それでは再びグループで、その根を退治するためにはどんな取り組みが必要か考えてみましょう。できれば3箇条という形にして画用紙に書いてください。発表者を1人決めておいてください。」

7 グループごとに発表します。

○模造紙はホワイトボードや黒板に貼って、発表者は画用紙を全員に見せながら発表します。

○グループごとに2分程度発表してもらいます。質疑応答しながら進めていきます。(グループ数によって発表時間を調整します)(10分)

振り返り  
10分

8 グループで本日の活動について感想を発表し合います。その後、各グループの代表に感想を発表してもらいます。(グループのまとめでなく自分の感想でもよいでしょう。)

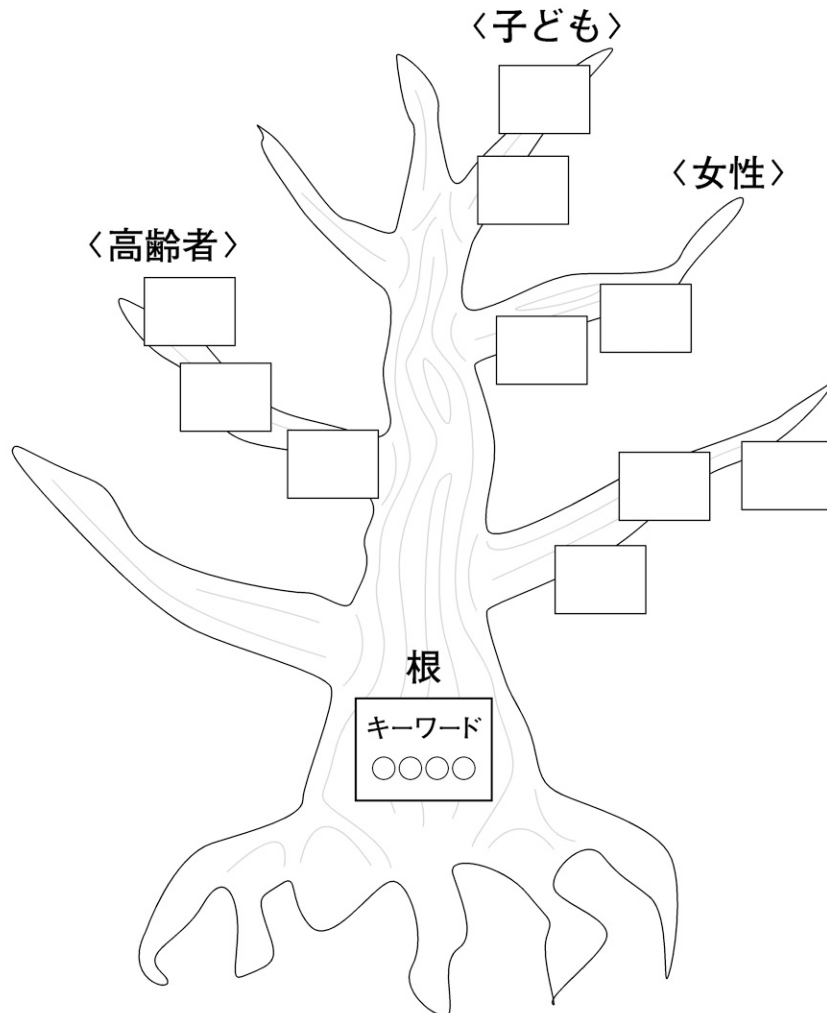
## 留意点

- 根の原因は必ずしもひとつでなくてもよいでしょう。ただ、あまり多くなってもいけないので、できるだけ絞り込むようにアドバイスしてください。
- 3箇条も絶対3つというわけではありませんが、できるだけ3つになるようアドバイスしてください。
- 巻末の資料 言葉の意味について「ブレインストーミング」の項目に活動の注意事項があります、お読みください。

# ワークシート 人権問題とその根 イメージ図

○このような形に整理してください。

○木の形や枝の数などはグループにあわせてかいてください。



## 〈根を退治するための3箇条〉イメージ図

| 根を退治するための3箇条 | 班 |
|--------------|---|
| 1            |   |
| 2            |   |
| 3            |   |